

2) 分娩の状況

平成20年9月中に「分娩（正常分娩を含む）」を実施した施設数をみると、一般病院1,126施設、一般診療所1,441施設となっており、年々減少している（表24）。

また、分娩件数を年次推移でみると、帝王切開娩出術件数は年々増加している（表25、図9）。

一般病院で分娩を取り扱っている施設のうち、LDRを設置しているのは、325施設（分娩取扱あり施設の28.3%）となっている（表26）。

表24 分娩を実施した施設数の年次推移

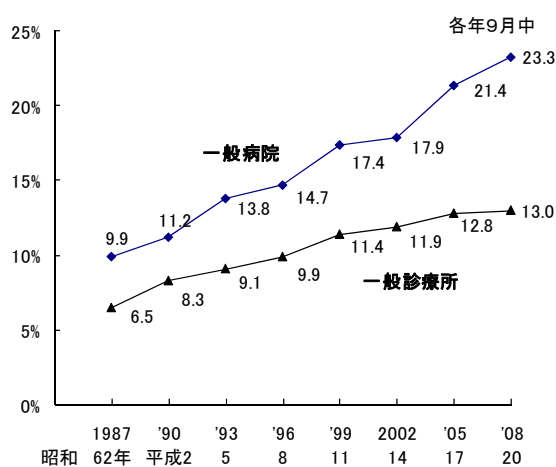
	分娩を実施した施設総数			構成割合(%)		
	分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数	構成割合(%)			
			分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数		
平成8年(1996)	3 991	1 720	2 271	100.0	43.1	56.9
11 ('99)	3 697	1 625	2 072	100.0	44.0	56.0
14 (2002)	3 306	1 503	1 803	100.0	45.5	54.5
17 ('05)	2 933	1 321	1 612	100.0	45.0	55.0
20 ('08)	2 567	1 126	1 441	100.0	43.9	56.1

各年9月中

表25 分娩件数の年次推移

	各年9月中					
	一般病院			一般診療所		
	分娩件数	帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)	分娩件数	帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)
昭和62年 ('87)	59 939	5 933	9.9	45 040	2 948	6.5
平成2年 ('90)	53 497	5 981	11.2	35 233	2 919	8.3
5 ('93)	54 065	7 486	13.8	40 347	3 687	9.1
8 ('96)	52 976	7 791	14.7	43 034	4 270	9.9
11 ('99)	50 959	8 852	17.4	40 097	4 571	11.4
14 (2002)	49 629	8 900	17.9	41 498	4 938	11.9
17 ('05)	44 865	9 623	21.4	40 247	5 156	12.8
20 ('08)	47 626	11 089	23.3	42 792	5 553	13.0

図9 帝王切開娩出術の割合の年次推移



注：割合は、帝王切開娩出術件数の、分娩件数に対する割合である。

表26 分娩の状況

	平成20(2008)年10月1日現在					
	総数	分娩取扱あり ¹⁾	担当医師数 (常勤換算)	担当助産師数 (常勤換算)	LDRあり ²⁾	LDR病床数
一般病院	施設数 7 714	施設数 1 149	人 4 981.0	人 14 053.6	施設数 325	床 648
一般診療所	99 083	1 564	2 409.2	4 118.0
	構成割合(%)					
一般病院	100.0	14.9	[28.3]	...
一般診療所	100.0	1.6

注：1) 分娩取扱ありとは、9月中の分娩の有無にかかわらず、施設で分娩を取り扱っている場合をいう。
2) LDRとは、入院する病床で、陣痛・分娩から回復までを過ごすことができる、居室型分娩室をいう。
3) []内は、分娩取扱あり一般病院に占める「LDRあり」の割合である。

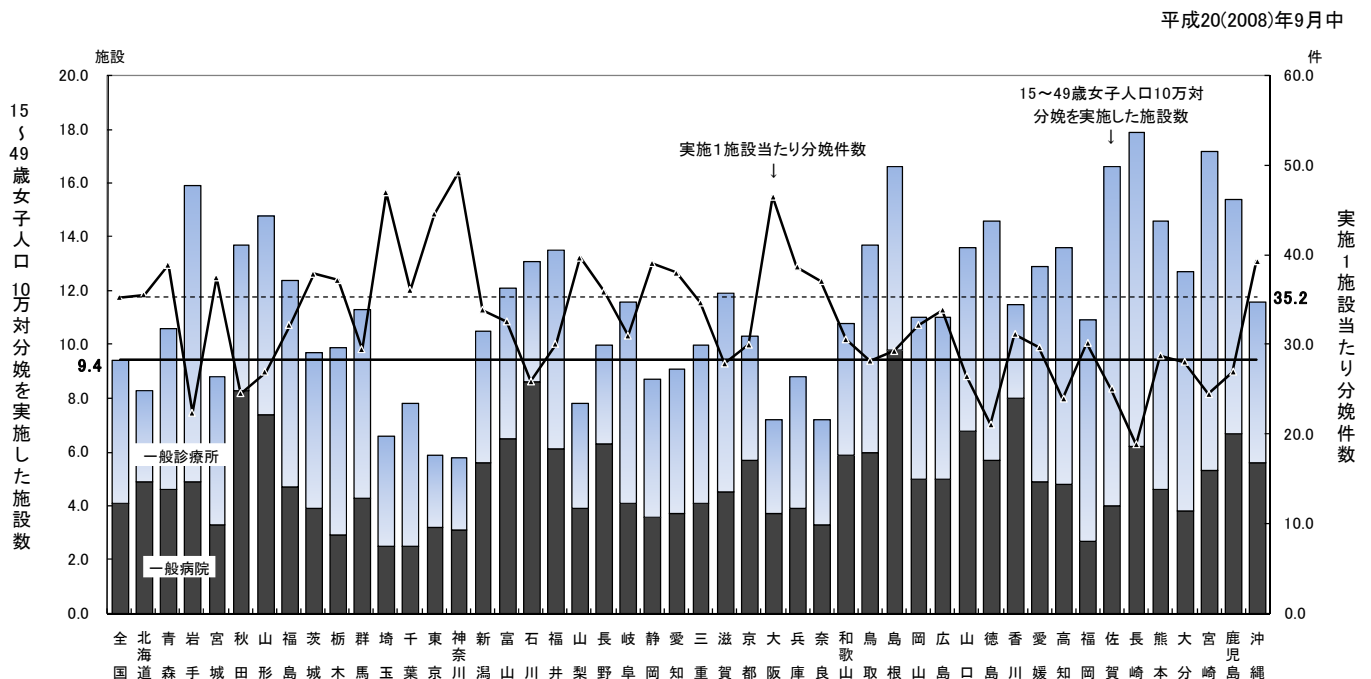
3) 都道府県別にみた分娩を実施した施設の状況

平成20年9月中に分娩を実施した施設数を15～49歳女子人口10万対で見ると、全国平均9.4施設（一般病院と一般診療所の合計）となっている。

これを都道府県別で見ると、長崎県（17.9施設）、宮崎県（17.2施設）、島根県（16.7施設）などが多く、神奈川県（5.8施設）、東京都（5.9施設）、埼玉県（6.6施設）などが少なくなっている。

「実施1施設当たり分娩件数」は全国平均35.2件となっており、神奈川県（49.1件）、埼玉県（46.9件）、大阪府（46.4件）などが多く、長崎県（18.8件）、徳島県（21.0件）、岩手県（22.3件）などが少なくなっている。（図10）

図10 都道府県別にみた分娩を実施した施設の状況



(6) 緩和ケアの状況

緩和ケア（施設基準を満たしていないものを含む。）の状況を見ると、「緩和ケア病棟がある」病院は229施設（病院総数の2.6%）、「緩和ケアチームがある」病院は612施設（同7.0%）となっている（表27）。

表27 緩和ケアの状況

平成20（2008）年10月1日現在

		施設数	構成割合 (%)			施設数	構成割合 (%)
総数		8 794	100.0	総数		8 794	100.0
緩和ケア病棟あり	施設数	229	2.6	緩和ケアチームあり	施設数	612	7.0
	病床数	4 230	...		9月中の患者数	16 349	...
	9月中の取扱患者延数	70 542	...		(再掲)新規依頼患者数	3 453	...
緩和ケア病棟なし		8 565	97.4	緩和ケアチームなし		8 182	93.0

(7) 健診・保健指導の状況

生活習慣病に関する健診・保健指導の状況（いわゆる「特定健康診査・特定保健指導」の状況）をみると、健診を「実施している」施設は、病院で 5,802 施設（病院総数の 66.0%）、保健指導を「実施している」施設は 2,938 施設（同 33.4%）となっている。一般診療所では、それぞれ 43,287 施設（一般診療所総数の 43.7%）、20,087 施設（同 20.3%）になっている。（表 28、表 29）

表 28 生活習慣病に関する健診の状況
（実施している項目は複数回答）

表 29 生活習慣病に関する保健指導の状況
（実施している項目は複数回答）

平成20（2008）年10月1日現在

平成20（2008）年10月1日現在

	施設数		構成割合 (%)	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 794	99 083	100.0	100.0
実施している	5 802	43 287	66.0	43.7
医療保険者からの委託による	3 820	25 290	43.4	25.5
その他	1 782	11 157	20.3	11.3
実施していない	2 992	55 796	34.0	56.3

	施設数		構成割合 (%)	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 794	99 083	100.0	100.0
実施している	2 938	20 087	33.4	20.3
医療保険者からの委託による	1 882	9 162	21.4	9.2
その他	989	7 668	11.2	7.7
実施していない	5 856	78 996	66.6	79.7

(8) 受動喫煙防止対策等の状況

受動喫煙防止対策の状況をみると、「施設内を全面禁煙としている」施設は、病院 3,258 施設（病院総数の 37.0%）、一般診療所 48,934 施設（一般診療所総数の 49.4%）、歯科診療所 38,151 施設（歯科診療所総数の 56.3%）となっている（表 30）。

禁煙外来を実施している施設は、病院は 1,688 施設（病院総数の 19.2%）、一般診療所は 8,536 施設（一般診療所総数の 8.6%）となっている。また、ニコチン依存症管理料を算定している施設は、病院では 1,243 施設（病院総数の 14.1%）、一般診療所は 5,869 施設（一般診療所総数の 5.9%）となっている。（表 31）

表 30 受動喫煙防止対策の状況

平成20（2008）年10月1日現在

	施設数			構成割合 (%)		
	病院	一般診療所	歯科診療所	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	8 794	99 083	67 779	100.0	100.0	100.0
敷地内を全面禁煙としている	2 361	22 797	13 817	26.8	23.0	20.4
施設内を全面禁煙としている	3 258	48 934	38 151	37.0	49.4	56.3
喫煙場所を設置し、非喫煙場所に煙が流れ出ないようにしている	2 722	12 568	6 803	31.0	12.7	10.0
その他の措置を講じている	352	3 061	1 721	4.0	3.1	2.5
何ら措置を講じていない	45	3 450	2 809	0.5	3.5	4.1
不詳	56	8 273	4 478	0.6	8.3	6.6

表 31 禁煙外来等の状況

平成20（2008）年10月1日現在

		施設数		構成割合 (%)	
		病院	一般診療所	病院	一般診療所
禁煙外来の有無	総数	8 794	99 083	100.0	100.0
	禁煙外来あり	1 688	8 536	19.2	8.6
	禁煙外来なし	7 106	90 547	80.8	91.4
ニコチン依存症管理料の算定	総数	8 794	99 083	100.0	100.0
	ニコチン依存症管理料算定あり	1 243	5 869	14.1	5.9
	ニコチン依存症管理料算定なし	7 551	93 214	85.9	94.1

(9) 保育施設・子育て支援の状況

病院における職員のための院内保育の状況をみると、院内保育を実施している施設は 3,031 施設（病院総数の 34.5%）で、前回調査に比べ増加している。また、夜間保育を実施している施設は 1,426 施設（同 16.2%）、病児保育を実施している施設は 449 施設（同 5.1%）となっている。院内保育の利用者は「自施設の看護師・准看護師」が 2,860 施設（院内保育を実施している病院総数の 94.4%）と最も多くなっている。（表 32、33、34）

利用者の有無に関わらず、病院が行っている子育て支援としては、「始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ」4,382 施設（病院総数の 49.8%）、「男性職員の出産休暇」3,257 施設（同 37.0%）、「代替職員の配置」3,247 施設（同 36.9%）となっている（表 35）。

表 32 職員のための院内保育サービスの状況

	各年10月1日現在			
	病院数		構成割合 (%)	
	平成20年 (2008)	平成17年 (2005)	平成20年 (2008)	平成17年 (2005)
総数	8 794	9 026	100.0	100.0
院内保育を実施している 総数	3 031	2 754	34.5	30.5
院内の施設を利用	2 326	2 018	26.4	22.4
院外の施設を利用	721	743	8.2	8.2

表 33 夜間保育・病児保育の状況

	平成20(2008)年10月1日現在			
	病院数	構成割合 (%)	病院数	構成割合 (%)
総数	8 794	100.0	8 794	100.0
夜間保育有り	1 426	16.2	449	5.1
夜間保育無し	7 368	83.8	8 345	94.9

表 34 院内保育の利用者の状況（複数回答）

	平成20(2008)年10月1日現在	
	病院数	病院数に対する割合 (%)
院内保育を実施している	3 031	100.0
自施設の医師・歯科医師	1 666	55.0
自施設の看護師・准看護師	2 860	94.4
その他の自施設の職員	2 086	68.8
併設施設の職員	911	30.1
その他	197	6.5

表 35 子育て支援導入の状況（複数回答）

	平成20(2008)年10月1日現在	
	病院数	病院数に対する割合 (%)
総数	8 794	100.0
男性職員の育児時間	2 704	30.7
男性職員の出産休暇	3 257	37.0
代替職員の配置	3 247	36.9
休業中の職員への情報提供	2 314	26.3
再就業する職員への研修	1 200	13.6
フレックスタイム	738	8.4
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	4 382	49.8
育児費用の援助措置	1 245	14.2

注：子育て支援の状況は、利用者の有無にかかわらず、導入しているものすべてについての回答である。

4 従事者の状況

病院の従事者については、(6) 診療科目別にみた男女別医師数を除き、病院報告の結果を用いた。（病院報告の概要 2 頁）

(1) 病院の従事者数

従事者数を職種別にみると、「医師」は 187,947.6 人、そのうち「医師（常勤）」は 150,238 人で、前年に比べ 2,766 人（1.9%）増加している。「歯科医師」は 9,981.3 人、そのうち「歯科医師（常勤）」は 8,326 人で、前年に比べ 261 人（3.2%）増加している。

「薬剤師」は 41,760.0 人、「看護師」は 636,970.8 人となっている。（表 36）

(2) 一般診療所の従事者数

従事者数を職種別にみると、「医師」は 117,567.5 人、そのうち「医師（常勤）」は 97,357 人で、前回に比べ 988 人（1.0%）増加している。

「看護師」は 84,963.0 人、「准看護師」は 89,697.4 人となっている。（表 36）

(3) 歯科診療所の従事者数

従事者数を職種別にみると、「歯科医師」は92,854.0人、そのうち「歯科医師（常勤）」は81,662人で、前回に比べ1,438人（1.8%）増加している。

「歯科衛生士」は78,907.3人、「歯科技工士」は10,674.0人となっている。（表36）

表36 職種別にみた施設の従事者数

		病 院				一般診療所	歯科診療所	
		総数 ¹⁾	精神病院 (再掲)	一般病院 (再掲)	医育機関 (再掲)			
		常 勤 換 算						
	総 数	1 771 435.8	165 774.1	1 605 590.8	171 142.9	699 202.1	300 950.2	
1	医 師	187 947.6	8 576.6	179 366.4	42 040.6	117 567.5	124.6	
2	常 勤	150 238	6 151	144 084	34 541	97 357	66	
3	非 常 勤	37 709.6	2 425.6	35 282.4	7 499.6	20 210.5	58.6	
4	歯 科 医 師	9 981.3	135.5	9 845.8	7 087.3	1 881.3	92 854.0	
5	常 勤	8 326	49	8 277	6 013	1 257	81 662	
6	非 常 勤	1 655.3	86.5	1 568.8	1 074.3	624.3	11 192.0	
7	介 輔	1.0	...	
8	薬 剤 師	41 760.0	2 996.9	38 760.3	4 556.4	6 550.6	866.2	
9	保 健 師	3 983.6	56.7	3 926.9	534.9	5 184.9	...	
10	助 産 師	18 130.7	3.0	18 127.7	2 586.3	5 206.9	...	
11	看 護 師	636 970.8	46 625.7	590 333.1	73 237.1	84 963.0	378.0	
12	准 看 護 師	170 782.5	35 943.3	134 823.4	827.3	89 697.4	257.9	
13	看護業務補助者	189 838.3	29 258.8	160 563.1	4 390.3	31 931.9	...	
14	理学療法士(PT)	38 675.3	111.1	38 564.2	1 236.3	6 683.0	...	
15	作業療法士(OT)	24 456.7	4 678.4	19 778.3	566.1	1 804.6	...	
16	視能訓練士	2 956.4	-	2 956.4	540.2	2 647.0	...	
17	言語聴覚士	7 869.2	27.1	7 842.1	332.8	714.1	...	
18	義肢装具士	60.6	-	60.6	-	81.3	...	
19	歯科衛生士	4 266.6	121.7	4 144.9	950.6	1 603.6	78 907.3	
20	歯科技工士	781.1	4.3	776.8	324.0	196.2	10 674.0	
21	歯科業務補助者	83 168.3	
22	診療放射線技師	37 443.2	477.0	36 965.2	4 297.4	8 672.6	...	
23	診療エックス線技師	312.8	26.6	286.2	0.6	1 498.3	...	
24	臨床検査技師	47 371.9	920.1	46 450.8	6 474.1	12 387.5	...	
25	衛生検査技師	202.2	9.0	193.2	40.1	321.0	...	
26	臨床工学技士	11 931.9	7.0	11 924.9	1 278.6	4 627.3	...	
27	あん摩マッサージ指圧師	2 743.4	26.5	2 716.9	29.8	4 639.3	...	
28	柔道整復師	630.1	3.0	627.1	5.0	2 930.8	...	
29	管理栄養士	17 489.3	1 789.5	15 697.8	952.0	
30	栄養士 ²⁾	5 917.6	1 041.3	4 876.3	289.3	7 557.0	...	
31	精神保健福祉士	6 766.2	4 879.2	1 887.0	68.5	1 432.7	...	
32	社会福祉士	4 581.2	69.8	4 510.4	169.9	2 239.0	...	
33	介護福祉士	27 481.0	1 916.1	25 564.9	62.0	24 655.8	...	
34	その他の技術員	15 900.2	2 233.4	13 666.8	1 305.3	9 732.5	...	
35	医療社会事業従事者	9 200.9	860.9	8 340.0	290.3	1 862.5	...	
36	事務職員	162 736.1	10 208.0	152 521.6	13 084.0	195 937.1	26 760.1	
37	その他の職員	82 267.1	12 767.6	69 491.7	3 585.8	63 994.4	6 959.8	
		前年(平成19年)調査				前回(平成17年)調査		
1	医 師	183 828.3	8 455.3	175 369.0	40 314.8	113 103.1	149.1	
2	常 勤	147 472	6 077	141 393	32 865	96 369	85	
4	歯 科 医 師	9 684.1	144.4	9 539.7	6 774.3	1 788.5	87 498.0	
5	常 勤	8 065	63	8 002	5 750	1 195	80 224	
8	薬 剤 師	41 032.2	2 926.2	38 103.2	4 287.6	6 744.4	693.9	
9	保 健 師	3 517.6	54.3	3 463.3	507.5	4 564.5	...	
10	助 産 師	17 597.0	3.0	17 594.0	2 405.4	3 533.1	...	
11	看 護 師	618 406.4	45 353.0	573 040.4	68 017.9	75 842.8	301.0	
12	准 看 護 師	176 441.8	36 666.1	139 759.0	931.8	101 544.0	180.1	
19	歯科衛生士	4 201.3	121.6	4 079.7	933.0	1 628.0	71 212.8	
20	歯科技工士	798.0	5.4	792.6	324.0	234.4	11 614.8	

注：1) 病院の総数には、結核療養所を含む。

2) 一般診療所の「栄養士」には、「管理栄養士」も含む。

3) 病院の従事者は「病院報告」、一般診療所、歯科診療所の従事者は3年に1度の「医療施設静態調査」の結果を用いた。

(4) 病院における職種別に見た100床当たり従事者数

病院の100床当たり常勤換算従事者数は110.0人で、前年(107.2人)に比べ2.8人増加している。
このうち、精神科病院は64.1人、一般病院は118.8人となっている。

職種別にみると、「医師」は11.7人で、前年(11.3人)に比べ0.4人増加し、「看護師」は39.6人で、前年(38.2人)に比べ1.4人増加している。「准看護師」は10.6人で、前年(10.9人)に比べ0.3人減少している。(表37)

(参考) 統計表16 都道府県-18大都市・中核市(再掲)別に見た病院の常勤換算従事者数及び100床当たり常勤換算従事者数

表37 病院の種類・主な職種別に見た100床当たり常勤換算従事者数

(単位:人)		各年10月1日現在									
		総数	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	診療放射線技師・診療エックス線技師	臨床検査技師・衛生検査技師	管理栄養士・栄養士	その他
平成20年 (2008)	総数	110.0	11.7	0.6	2.6	39.6	10.6	2.3	3.0	1.5	38.2
	精神科病院	64.1	3.3	0.1	1.2	18.0	13.9	0.2	0.4	1.1	26.0
	結核療養所	76.2	4.9	0.0	3.0	12.9	17.0	1.1	1.1	2.2	34.1
	一般病院	118.8	13.3	0.7	2.9	43.7	10.0	2.8	3.5	1.5	40.6
平成19年 (2007)	総数	107.2	11.3	0.6	2.5	38.2	10.9	2.3	2.9	1.4	37.0
	精神科病院	63.0	3.3	0.1	1.1	17.5	14.2	0.2	0.4	1.1	25.2
	結核療養所	73.2	4.3	-	3.0	14.0	18.0	1.1	1.1	2.2	29.7
	一般病院	115.6	12.9	0.7	2.8	42.1	10.3	2.7	3.4	1.5	39.3

(5) 都道府県別に見た病院における人口10万対常勤換算医師数

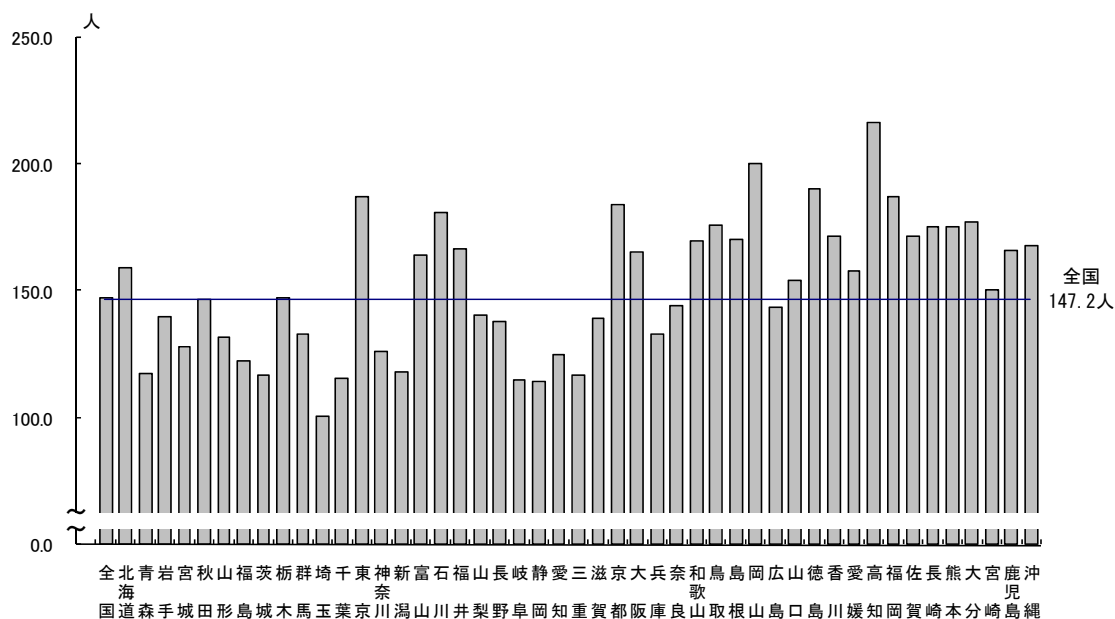
人口10万対の常勤換算医師数を都道府県別にみると、高知県(216.6人)が最も多く、次いで岡山県(200.4人)となっており、埼玉県(100.7人)が最も少なく、次いで静岡県(113.9人)となっている。

(図11)

(参考) 統計表17 都道府県別に見た病院における常勤換算医師数及び人口10万対常勤換算医師数の年次推移

図11 都道府県別に見た病院における人口10万対常勤換算医師数

平成20(2008)年10月1日現在



(6) 診療科目別にみた男女別医師数（医療施設調査）

病院の診療科目別医師数（常勤換算）をみると、男性医師では、「内科」が31,667.5人と最も多く、次いで、「外科」16,903.4人、「整形外科」12,333.2人となっている。女性医師では、「内科」が6,421.7人と最も多く、次いで、「小児科」2,732.6人、「精神科」2,118.8人となっている。（表38）

表38 診療科目別にみた男女別医師数（常勤換算）

平成20(2008)年10月1日現在

	医師数(常勤換算)			構成割合(%)		
	総数	男性医師	女性医師	総数	男性医師	女性医師
内科	38 089.2	31 667.5	6 421.7	100.0	83.1	16.9
呼吸器内科	3 474.8	2 878.2	596.6	100.0	82.8	17.2
循環器内科	7 911.9	7 042.8	869.1	100.0	89.0	11.0
消化器内科（胃腸内科）	6 613.5	5 726.1	887.4	100.0	86.6	13.4
腎臓内科	654.8	501.0	153.8	100.0	76.5	23.5
神経内科	3 326.4	2 664.3	662.1	100.0	80.1	19.9
糖尿病内科（代謝内科）	555.7	408.0	147.7	100.0	73.4	26.6
血液内科	383.0	313.1	69.9	100.0	81.7	18.3
皮膚科	3 483.4	1 971.1	1 512.3	100.0	56.6	43.4
アレルギー科	196.4	150.2	46.2	100.0	76.5	23.5
リウマチ科	549.1	476.5	72.6	100.0	86.8	13.2
感染症内科	58.9	52.8	6.1	100.0	89.6	10.4
小児科	8 867.3	6 134.7	2 732.6	100.0	69.2	30.8
精神科	11 864.8	9 746.0	2 118.8	100.0	82.1	17.9
心療内科	402.7	323.1	79.6	100.0	80.2	19.8
外科	18 035.9	16 903.4	1 132.5	100.0	93.7	6.3
呼吸器外科	1 063.9	1 010.2	53.7	100.0	95.0	5.0
心臓血管外科 ²⁾	2 565.8	2 452.3	113.5	100.0	95.6	4.4
乳腺外科	200.3	152.7	47.6	100.0	76.2	23.8
気管食道外科	16.7	14.4	2.3	100.0	86.2	13.8
消化器外科（胃腸外科）	1 401.6	1 326.3	75.3	100.0	94.6	5.4
泌尿器科	4 943.8	4 692.1	251.7	100.0	94.9	5.1
肛門外科	354.7	342.5	12.2	100.0	96.6	3.4
脳神経外科	5 845.6	5 562.7	282.9	100.0	95.2	4.8
整形外科	12 918.9	12 333.2	585.7	100.0	95.5	4.5
形成外科	1 741.8	1 324.5	417.3	100.0	76.0	24.0
美容外科	17.9	11.5	6.4	100.0	64.2	35.8
眼科	4 886.8	3 130.2	1 756.6	100.0	64.1	35.9
耳鼻いんこう科	3 700.6	2 960.4	740.2	100.0	80.0	20.0
小児外科	572.8	488.9	83.9	100.0	85.4	14.6
産婦人科	5 226.1	3 637.3	1 588.8	100.0	69.6	30.4
産科	828.2	556.1	272.1	100.0	67.1	32.9
婦人科	927.0	668.8	258.2	100.0	72.1	27.9
リハビリテーション科	3 180.3	2 773.5	406.8	100.0	87.2	12.8
放射線科	5 019.7	4 087.5	932.2	100.0	81.4	18.6
麻酔科	6 950.6	4 845.0	2 105.6	100.0	69.7	30.3
病理診断科	271.9	218.4	53.5	100.0	80.3	19.7
臨床検査科	121.7	102.1	19.6	100.0	83.9	16.1
救急科	951.7	837.8	113.9	100.0	88.0	12.0
歯科	5 348.6	3 867.9	1 480.7	100.0	72.3	27.7
矯正歯科	492.0	341.5	150.5	100.0	69.4	30.6
小児歯科	335.4	185.3	150.1	100.0	55.2	44.8
歯科口腔外科	2 757.8	2 238.3	519.5	100.0	81.2	18.8

注：1) 診療科目区分が可能なものについて計上している。

2) 心臓血管外科には循環器外科を含む。

Ⅱ 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

病院の1日平均在院患者数は1,318,020人で、前年に比べ1.1%（14,635人）減少している。

このうち、「精神科病院」は236,704人で、前年に比べ0.5%減少し、「一般病院」は1,081,228人で、前年に比べ1.2%減少している。

病床の種類別の1日平均在院患者数は、「一般病床」は690,392人、「療養病床」は308,797人、「精神病床」は78,396人であり、「療養病床」のうち、「介護療養病床」は90,652人となっている。

また、1日平均新入院患者数は38,999人、1日平均退院患者数は39,061人となっている。

療養病床を有する診療所の療養病床の1日平均在院患者数は、12,968人で、介護療養病床は5,051人となっている。（表1、図1）

（参考）統計表11 年間患者数、病院の種類—病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

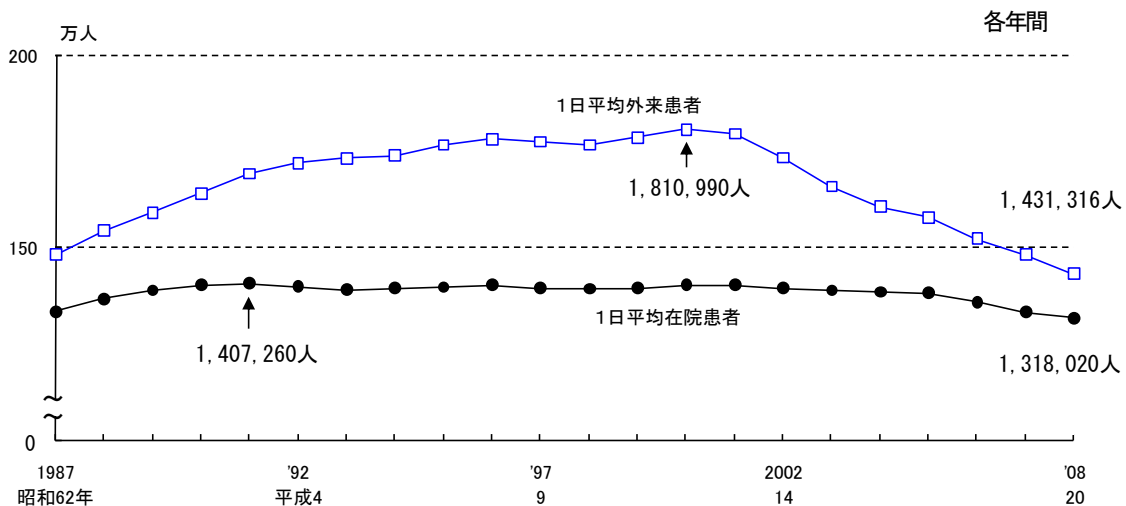
各年間

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年 増減率	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年 増減率	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年 増減率
病院	人	人	%	人	人	%	人	人	%
総数	1 318 020	1 332 655	△ 1.1	38 999	39 104	△ 0.3	39 061	39 142	△ 0.2
精神科病院	236 704	237 964	△ 0.5	676	659	2.6	679	665	2.1
一般病院	1 081 228	1 094 602	△ 1.2	38 322	38 444	△ 0.3	38 382	38 476	△ 0.2
精神病床	78 396	79 386	△ 1.2	325	332	△ 2.1	334	340	△ 1.8
感染症病床	43	39	10.3	4	4	△ 0.0	4	4	0.0
結核病床	3 601	3 838	△ 6.2	49	56	△ 12.5	49	55	△ 10.9
一般病床	690 392	699 357	△ 1.3	36 953	37 057	△ 0.3	36 468	36 543	△ 0.2
療養病床 (再掲)	308 797	311 982	△ 1.0	990	995	△ 0.5	1 528	1 534	△ 0.4
介護療養病床	90 652	98 529	△ 8.0	196	219	△ 10.5	244	275	△ 11.3
療養病床を有する診療所									
療養病床 (再掲)	12 968	14 359	△ 9.7	82	90	△ 8.9	112	123	△ 8.9
介護療養病床	5 051	5 674	△ 11.0	39	38	2.6	44	45	△ 2.2

注: 1) 病院の総数には結核療養所を含む。

2) 月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

図1 1日平均患者数の年次推移



注: 1日平均外来患者数は、現行の算出式で再計算したため、平成11年までの報告書と一致しない。

(2) 1日平均外来患者数

1日平均外来患者数は1,431,316人で、前年に比べ3.4%（50,006人）減少している。

このうち、「精神科病院」は53,965人で、前年に比べ0.8%増加し、「一般病院」は1,377,346人で、前年に比べ3.5%減少している。（表2、図1）

人口10万対1日平均外来患者数は1,120.9人で、前年（1,159.4人）に比べ38.5人減少している。

都道府県別にみると、高知県（1,808.4人）が最も多く、次いで香川県（1,612.8人）となっており、静岡県（842.8人）、埼玉県（891.7人）などが少なくなっている。（図2）

（参考）

統計表 11 年間患者数、病院の種類・病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

統計表 12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表 14 都道府県—18大都市・中核市（再掲）別にみた人口10万対1日平均患者数

表2 1日平均外来患者数

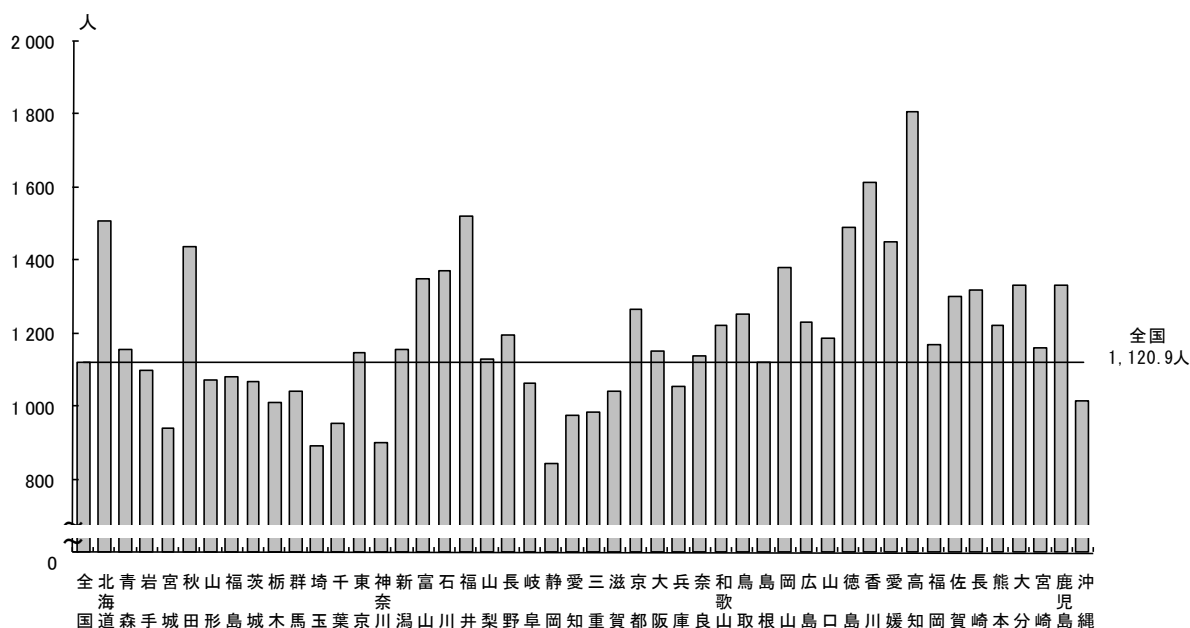
各年間

	1日平均外来患者数		対前年 増減率 %
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	
総 数	1 431 316 人	1 481 322 人	△ 3.4
精 神 科 病 院	53 965	53 545	0.8
一 般 病 院	1 377 346	1 427 772	△ 3.5

注：総数には結核療養所を含む。

図2 都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数

平成20(2008)年 年間



(3) 都道府県別にみた1日平均在院患者数

1日平均在院患者数の病床の種類別構成割合をみると、「精神病床」23.9%、「療養病床」23.4%、「一般病床」52.4%などとなっている。

これを都道府県別にみると、「精神病床」の割合が高いのは宮崎県(33.8%)、「療養病床」は高知県(41.4%)、「一般病床」は和歌山県(61.2%)となっている。(図3)

人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は246.8人で、前年(248.4人)に比べ1.6人減少しており、「一般病床」は540.7人で、前年(547.4人)に比べ6.7人減少している。「療養病床」は241.8人で、前年(244.2人)に比べ2.4人減少している。

これを都道府県別にみると、「精神病床」は鹿児島県(544.1人)が最も多く、次いで長崎県(513.5人)となっており、神奈川県(137.7人)、滋賀県(149.5人)などが少なくなっている。「一般病床」は大分県(813.5人)が最も多く、次いで高知県(807.4人)となっており、埼玉県(358.3人)、神奈川県(395.4人)などが少なくなっている。「療養病床」は高知県(876.5人)が最も多く、次いで山口県(624.6人)となっており、宮城県(121.1人)、神奈川県(130.3人)などが少なくなっている。「介護療養病床」は高知県(312.0人)が最も多く、次いで山口県(219.0人)となっており、宮城県(13.5人)、山形県(14.2人)などが少なくなっている。(図4)

(参考)

統計表 12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表 13 都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

統計表 14 都道府県-18大都市・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

図3 都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

平成20(2008)年 年間

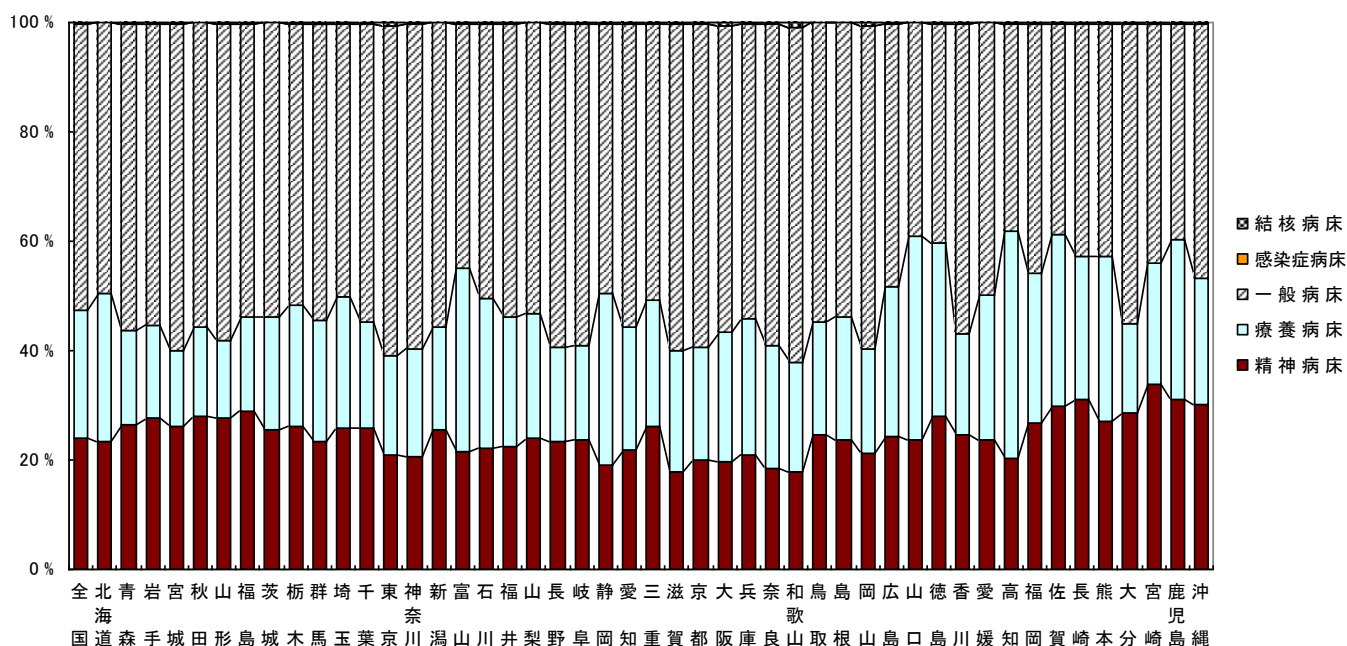
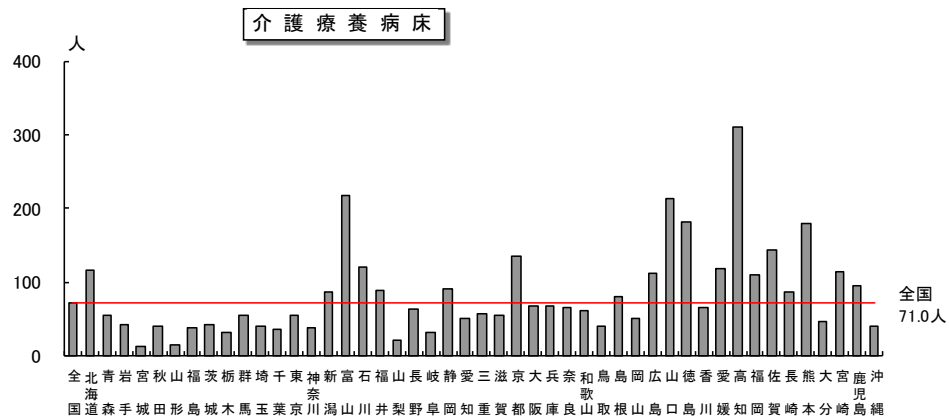
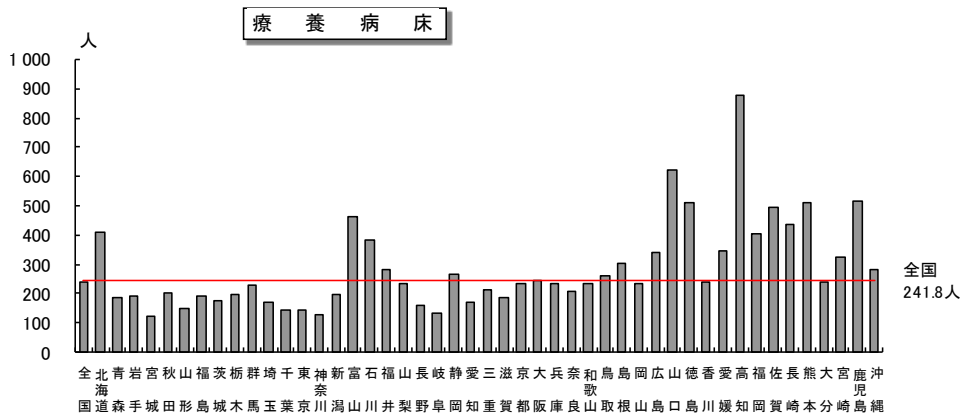
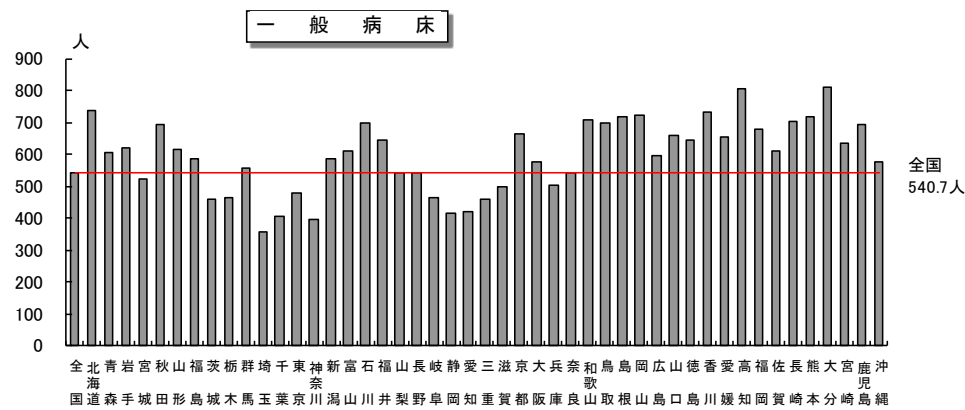
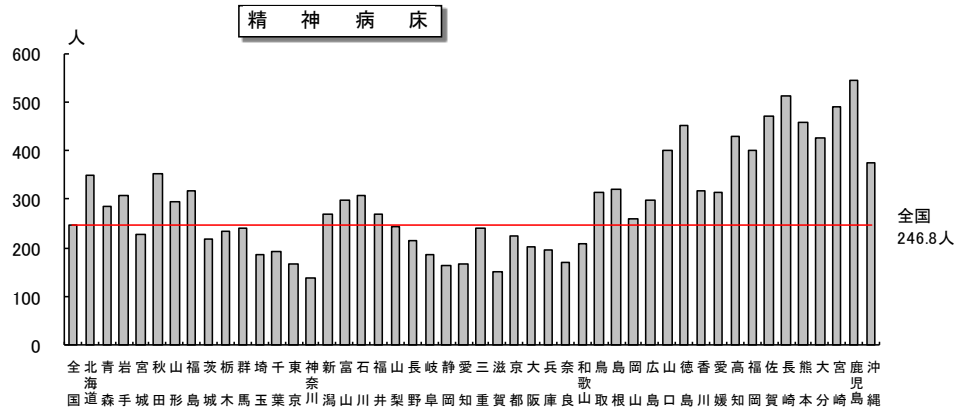


図4 都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数

平成20(2008)年 年間



2 病床利用率

病院の病床利用率は81.7%で、前年に比べ0.5ポイント低下している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は90.0%、「一般病床」は75.9%、「療養病床」は90.6%、「介護療養病床」は94.2%となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は72.3%で、前年に比べ2.1ポイント低下しており、「介護療養病床」は80.2%となっている。(表3)

(参考) 統計表12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別による病床利用率・平均在院日数の年次推移

表3 病床の種類別にみた病床利用率

各年間

	病床利用率		対前年 増減
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	
病院	%	%	
全病床	81.7	82.2	△ 0.5
精神病床	90.0	90.2	△ 0.2
感染症病床	2.4	2.2	0.2
結核病床	38.0	37.1	0.9
一般病床	75.9	76.6	△ 0.7
療養病床	90.6	90.7	△ 0.1
介護療養病床	94.2	93.9	0.3
療養病床を有する診療所			
療養病床	72.3	74.4	△ 2.1
介護療養病床	80.2	79.4	0.8